

いちめんのなのはな

令和2年11月6日(金)
こうちょう すず き まこと
校長 鈴木 誠

親子にこここコスモスウォーキング

- PTA活動 11月3日(火) -

未明まで降り続いた雨が上がり、快晴に恵まれて「親子にこここコスモスウォーキング」を実施しました。コースのあちこちで、コスモスだけでなく、多種のキク、クジャクソウ、セージなどが、秋の深まりを感じさせる爽やかな風に揺れていました。また、柿などの果実が熟れているのも見られました。



交通安全に気を付けながら秋を堪能



標語・ポスターコンクール表彰式

開会式に先立って、「PTAあいさつ運動 標語・ポスターコンクール」の表彰式を行いました。力作ぞろいのポスターや多数の応募標語から入選したのは

○標語の部

- ・最優秀賞 6年大竹さん
- ・優秀賞 6年松本君, 6年鈴木(こ)さん, 6年萩原(た)君

○ポスターの部

- ・最優秀賞 6年米倉さん
- ・優秀賞 4年神谷さん, 1年椋田さん でした。

多くの子供たちが積極的に作品を応募したことをとても

嬉しく思います。

コースの終点は「碧の会」の皆さんが世話してくださってきたコスモス畑です。子供たちの多くが散策路をコスモスの迷路のように楽しみました。そして、ゴールでは、碧の会より参加記念の品を大人も子供もいただきました。

「秋の素敵」「中部の素敵」「家族の素敵」をたくさん見つけることができました。会の計画や準備・片付け、そして運営にと御尽力くださった保健体育部をはじめとするPTA役員・委員の皆様と碧の会の皆様にご感謝します。



ゴールのコスモス畑にて



換気のよい広い体育館で実施

修学旅行説明会

- 6年生 11月2日(月) -

6年生が、修学旅行の説明会を体育館で行いました。行き先を京都府ではなく滋賀県に変更したことや、今年実施されなかった市主催の芸術鑑賞会の代わりとなるオペラ鑑賞を実施することなどを説明しました。また、児童向けの資料はそれぞれの児童がMyタブレットにダウンロードしたもので説明を受けました。

私からは、新型コロナウイルス感染者が学校で発生した際の対応などについて説明しました。学校全体でこれまでのように感染予防に努めて、修学旅行を無事に迎えたいと思います。

魚食の伝道師による出前授業

- 5年生 総合的な学習の時間 11月4日(水) -

5年生が西三河農林水産事務所水産課から講師を招き、「西三河の漁業」をテーマに講話をしていただきました。ウナギの養殖、アサリの採り方、ノリの加工の仕方とそれぞれの生産量とその国内における位置づけを学びました。

また、伊勢湾でとれたアナゴやマイワシ、ハモ、アサリ、ハマグリ、シラスウナギ等の実物を観察しました。

「図鑑でしか見たことがなく興奮する」「それぞれの匂いが違う」「ウナギが水槽を上った」などの声が聞かれました。最後の質問コーナーでは「ノリの収穫量が減っているのはなぜ」「ノリの色(2枚の実物にわずかな色の違いがありました)が違うのはどうして」「ウナギのように変態する魚は」などの問いが途切れることなく出され、丁寧にお応えいただきました。

理科や社会科での学びを生かし深める子供たちの姿が印象的でした。



実物を注視する子供たち



長く強いツルと綱引き

サツマイモの収穫

- 1年生 生活科 11月4日(水) -

1年生が世話をしてきたサツマイモの収穫をしました。子供たちは力を合わせてツルを取り除きました。ツルを引っ張る子供たちから自然と「オーエス」の掛け声が上がりました。子供たちは手を泥んこにして、サツマイモを傷つけないように

折らないようにと慎重に掘り進めました。

教室に戻ってからは、図工科でサツマイモのツルを用いた「リース作り」に取り組みました。

世話をしてきたものを収穫する喜びや生み出されたもので生活を潤すことを子供たちは学びました。実りの秋です。



折ないようにそっと



6年生 物語文とじっくり対話

国語科の授業研究

- 11月5日(木) -

6年1組「いわたくんちのおばあちゃん」

講師を招いて国語科の授業研究を行いました。

これからの国語科が目指す授業のあり方を志向する姿勢とその実践を評価していただきました。また、経験をもとに深く考えた子供たちの姿を褒めていただきました。読み取りを認め合わせたり、各々の読み取りの共通性に

目を向けさせたりする手立てを御指導いただきました。

4年2組「くらしの中の和と洋」

はじめがあり活発に対話した子供たちの姿を褒めていただきました。必要に応じて教科書の記述をもとに学びを見直すともっとよいと御助言いただきました。



4年生 級友との対話で考えを整理



5年生 読み取りをもとに級友と交流

5年1組「大造じいさんとがん」

難しい言葉を子供たちが様々に言い換えながら理解を深め学習意欲を高める授業の進め方や、積極的に発言しよく聞き合う子供たちを褒めていただきました。より主体的な授業が目指せる子供たちが育っていることも評価いただきました。